千葉市政策評価運用指針

１　評価の目的

新基本計画に掲げるまちづくりを推進するため、計画事業の進捗等を踏まえた指標の分析・考察を行い、行政課題を抽出する。これにより、行政活動の改善につなげるとともに、次期基本計画や実施計画の策定などに活用することを目的とする。

２　評価の対象

評価の対象は、新基本計画に定める「まちづくりの方向性（政策）」を構成する「施策の柱」とする。

３　評価指標

評価を行うにあたり、客観指標、生活実感指標、行動指標を設定する。

（１）指標

各指標は、以下の考え方に基づき設定することとし、詳細は別表のとおりとする。

ア　客観指標

施策の推進状況を客観的に示すもので、計画事業等の効果の反映度が高いもの。

イ　生活実感指標

市民の生活環境に対する実感を把握するもので、日常で実感しやすいもの。

ウ　行動指標

市民の公共・公益的活動の状況を把握するもの。

（２）目標値

客観指標について、実施計画の目標年次ごとに目標値を設定することとし、詳細は別表のとおりとする。

４　評価時期

各実施計画の計画期間終了後に実施する。

５　評価方法

ア　各局等の長は、所管する客観指標について目標値に対する達成状況を把握し、実施計画の事業等の進捗状況や外部要因と関連付けた分析・考察を行うとともに、課題及び今後の取組みの方向性について検討し、行政活動実績評価シート（別記）を用いて、行政活動実績評価を行う。各局が実施した行政活動実績評価について、総合政策局において改めて調整を行う。

イ　総合政策局は、生活実感指標・行動指標について、市民アンケートにより、実感及び活動の状況について理由も含めて把握するとともに、分析・考察を行う。

ウ　総合政策局は、行政活動実績評価及び市民アンケート結果の分析・考察を踏まえ、指標を関連付けて、総合的な分析・考察及び行政課題の抽出を行い、政策評価シート（別記）を用いて政策評価（案）を作成する。

エ　評価の妥当性を専門的な見地や市民の視点から確認するため、政策評価（案）について附属機関の審議を経るとともに、パブリックコメント手続により市民意見を聴取したのちに、市が政策評価を決定するものとする。

６ 評価の公表

評価結果は市民に公表する。

別表

生活実感指標・行動指標

No	方向性	区分	指標名
1	1	生活実感	市内の緑を豊かだと感じる割合
2			市内の水辺が魅力的だと感じる割合
3	2		安心して出産・育児ができる環境があると感じる割合
4			高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じる割合
5			障害のある人が暮らしやすい環境であると感じる割合
6	3		男女共同参画の考え方が根付いていると感じる割合
7			子どもが小中学校で充実した教育を受けられると感じる割合
8			地域で市民が学べる環境があると感じる割合
9			文化・芸術活動に親しめる環境があると感じる割合
10			スポーツを楽しめる機会があると感じる割合
11	4		市内の公共交通が便利だと感じる割合
12			市内の道路は移動がしやすいと感じる割合
13	5		魅力的なまちがあると感じる割合
14			市内の農業・農村に親しめる環境があると感じる割合
15	―	行動	公共・公益的な活動の状況
16			その他行政施策に関わりの深い活動の状況

客観指標

方向性１　豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ

施策の柱１－１　豊かな自然を守り、はぐくむ

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	緑と水辺の保全・活用	1	市街化区域内で保全されている緑地の割合	%	10.3	10.2	10.2	10.7	10.9	緑と水辺のまちづくりプランに掲げるH33年度末11%を目標とし、比例按分により設定
		2	谷津田の保全活動等の参加者数	人	409	519	552	470	490	参加者は高齢化等により減少しており、また、活動が天候に左右されることから、500人前後を目標に設定
		3	多自然川づくりの整備延長	m	6,182	8,313	8,573	9,513	10,259	河川の整備計画に基づき設定
2	やすらぎとにぎわいのある海辺の創出	4	稲毛海浜公園の利用者数（有料施設）	千人	651	650	833	718	895	指定管理施設は、指定管理者の事業計画、民間施設は、民間事業者の事業計画に基づき設定
		5	千葉中央港地区旅客船利用者数	人	－	－	41,000	43,000	51,000	H28とH29の上半期旅客船利用者数の伸び率が今後も継続していくものとした

施策の柱１－２　緑と花のあふれる都市空間を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	公園緑地の充実	6	市民や企業が管理・運営に関わる公園数	公園	0	16	25	33	51	年間各区1公園増とすることを見込んで目標値を設定した
		7	大規模な公園の利用者数（有料施設）	万人	380	389	372	429	461	指定管理施設は、指定管理者の事業計画、民間施設は、民間事業者の事業計画に基づき設定
		8	老朽化した遊具の更新数	基	0	209	312	368	564	これまでの実績から、今後の計画期間内（H30-H32）に196基更新することを見込んで設定
		9	動物園入園者数	万人	61.3	57.5	67.7	70.0	80.0	他園の実績をもとに家畜の原種ゾーンの再整備完了時にH23末比1.3倍の入園者を見込んだ
2	都市緑化の推進	再掲	市街化区域内で保全されているの緑地の割合	%	10.3	10.2	10.2	10.7	10.9	緑と水辺のまちづくりプランに掲げるH33年度末11%を目標とし、比例按分により設定
3	花のあふれるまちづくりの推進	10	花いっぱい市民活動団体数	団体	441	442	471	477	480	緑や花の量的拡大や質的向上を図ることを目指し、3団体/年程度増加させることを目標値に設定
		11	オオガハス関連イベント来場者数	人	1,000	2,000	13,120	19,000	20,000	これ以上の日数確保が困難なこと、H29は天候に恵まれた結果であることから、H29から微増とした

施策の柱１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	低炭素社会の実現に向けた取組みの推進	12	温室効果ガス排出量削減率	%	6.8	3.0	H31.8月頃確定予定	3.1	5.4	「千葉市温暖化対策実行計画」の数値目標に基づき設定（23及び26年度末値は、改定前の旧計画数値）
		13	再生可能エネルギー等の導入量	ﾒｶﾞﾜｯﾄ	148	205	263	300	410	「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」の改定に伴い、目標値を設定
2	循環型社会の実現に向けた取組みの推進	14	市民1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	1,094	1051	1,018	1,039	1,038	29.3「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の改定に伴い、目標値を設定
		15	ごみの再生利用率	%	30.8	33.4	33.3	33.0	35.0	29.3「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の改定に伴い、目標値を設定
3	良好な生活環境の確保	16	大気の環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成4項目）	%	100	100	100	現状維持（100）	現状維持（100）	千葉市環境基本計画による目標値を設定している大気に係る項目について、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す
		17	大気の環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成3項目）	%	0	33.3	33.3	33.3	66.6	千葉市環境基本計画による目標値を設定している大気に係る3項目について今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す
		18	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成31項目）	%	100	100	100	現状維持（100）	現状維持（100）	千葉市環境基本計画による目標値を設定している水質に係る31項目について、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す
		19	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成5項目）	%	0	20.0	20	20.0	20.0	千葉市環境基本計画による目標値を設定している水質に係る5項目について、今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す
4	環境保全・創造活動の推進	20	COOLCHOICE賛同登録数	人	－	－	－	300	300	初年度の登録数を300と見込み、翌年度以降も同規模の新規登録数があると見込み、設定

方向性２　支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ

施策の柱２－１　健康で活力に満ちた社会を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	健康づくりの推進	21	特定健康診査実施率	%	32.5	33.4	36.2	45.0	42.5	H30年3月に策定予定のデータヘルス計画において、H28年度の政令市最上位である47.0%を本市のH35目標値として設定した
		22	がん検診受診率	%	38.7	46.4	46.3	44.0	50.0	市民の健康寿命の延伸を図るため、検診の受診率の向上を目指すこととし、健康プランに基づき市民の半数が受診することを目標に設定
		23	肥満者の割合（20～60歳代の男性）/（40～60歳代の女性）	%	男28.0 女15.8	―	男27.2 女18.2	男26.0 女14.0	男25.0 女13.0	肥満者の割合の更なる減少を図ることとして、健康プランに基づき目標値を設定した
		24	成人の喫煙率	%	16.2	16.2	13.7	13.7	12.0	本市「健やか未来都市ちばプラン」における目標値と同様に設定した
		25	食生活改善推進員数	人	266	285	295	324	H30年度に設定	第2次千葉市食育推進計画に基づき、期間内10%の増員として、1年間6名の増加を目標値として設定
2	医療体制の充実	26	入院が必要な患者の積極的な受入れ（両市立病院の新規入院患者数）	人	13,607	14,515	14,622	15,241	15,388	千葉市立病院改革プラン（第4期）に基づき、近年の実績等を踏まえて目標値を設定
		27	夜急診における軽度（翌日診療で可）の患者の割合	%	49.1	49.5	50.2	45.4	44.0	真に受診する必要のある患者への診療を確保できるよう、3年で2%程度減させる目標値を設定
3	食の安全と環境衛生の推進	28	食中毒発生件数	件	8	8	3	7	5	過去10年間の市内食中毒発生状況を踏まえ、減少させる目標値を設定

施策の柱２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	子育て支援の充実	29	保育所待機児童数	人	123	0	11	0	0	待機児童ゼロを目標とし、受入れ枠の拡大を計画的に推進する
		30	ファミリー・サポート・センター活動件数	件	9,633	11,992	12,170	11,000	11,000	なり手が減少していることから、29末目標値以降は現状維持を目標値として設定
		31	子育て支援コンシェルジュ相談件数	件	－	5,390	12,095	13,000	16,000	H29末は、H28実績に過年度の伸び率を乗じた数値とし、H29以降は出張相談の強化等により年間1,000件の相談増を目標とした
		32	男性が1週間で育児にかかわる時間	時間/週	21	18	18	21.5	24.5	近年は伸び悩んでいるため、H23末と同程度まで戻すことを見込み、H29値を設定翌年度以降は毎年1時間増を目指す
		再掲	子どもルーム待機児童数	人	96	364	269	21	0	施設の新規開設等により、段階的に減少させ、待機児童ゼロを目指すこととする
2	こどもの健全育成の推進	33	街頭補導1回あたりの青少年の補導人数	人	1.78	0.56	0.37	1.20	1.00	サポート事業や相談事業、関係機関との連携を推進することとし、過去の平均補導人数の推移を踏まえ、目標値を設定
		34	子どもルーム待機児童数	人	96	364	269	21	0	施設の新規開設等により、段階的に減少させ、待機児童ゼロを目指すこととする
		35	子ども・若者総合相談センター相談件数	件	－	695	567	567	700	近年、相談件数が大きく減少していることから、相談体制を強化し、平成26年度の相談件数（過去実績のピーク）を上回ることを目標値とした
		36	里親登録数	組	54	59	67	72	102	30年度以降、NPOへの業務委託による里親リクルートの実施により、新規登録13組・辞退が3組と想定して設定

施策の柱２－３　ともに支えあう地域福祉社会を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	地域福祉の充実	37	社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	8,870	9,393	9,521	8,963	9,232	29年度以降は、市民の登録者数を適正に把握しつつ着実に増加させることを目指し、活動実態がある人を年100名程度増とする目標値を設定
		38	地域支え合い型訪問支援・通所支援事業登録団体活動数	件	－	－	－	528	19,536	29末は実績見込みに基づき設定したが、30年度以降は年間で11ずつ団体が増加することとして設定
		39	生活自立・仕事相談センター相談数	件	－	－	9.1	24	26	人口10万人/1月あたりの新規相談受付件数をH30末で26件とする国目標値に基づき設定
		再掲	地域運営委員会設置地区数	地区	－	2	12	14	26	4地区増／年を継続するものとして設定

施策の柱２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	介護予防と生きがいづくりの促進	40	介護・支援を必要としない高齢者の割合（75歳以上85歳未満）	%	－	80.5	80.7	80.8	82.5	28末から29末見込みまで、0.1ポイント割合が改善したことから、改善割合が年度ごとに倍増するとして目標値を設定
		41	生涯現役応援センターにおける就労・ボランティア等のマッチング件数	件	－	－	－	116	339	他市実績より想定利用者の2割にマッチングすることを想定し、高齢者推計人口の伸び率及び32年に1か所増を前提に設定
2	地域生活支援の充実（高齢者）	42	あんしんケアセンターにおける相談受付件数	件	20,943	33,622	40,400	41,000	42,000	より多くの市民が気軽に相談することのできる窓口として、相談支援体制の拡充・強化を図ることとし、目標値を設定
		43	小規模多機能型居宅介護サービスその他の地域密着型サービスの利用者数	人	－	265	418	485	700	29末は国推計値に、施設整備数を足し上げ算出、32末は整備予定の施設数に施設種別の平均利用人数を掛けたものを足し上げ算出
3	介護保険サービスの充実	44	介護保険サービス事業所数	か所	1,192	1,435	1,484	1,600	1,650	過去の要支援・要介護認定者数の伸び率を踏まえ、必要な事業所数を確保することとして目標値を設定
		45	介護サービス施設・事業者の従事者数	人	8,527	11,229	12,239	13,100	15,700	過去の要支援・要介護認定者数の伸び率を踏まえ、2025年に必要となる従業者数を県推計により算出

施策の柱２－５　障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	療育体制と相談支援の充実	46	療育相談所における相談件数(もしくは相談者数)	件	472	619	632	640	660	26年度実績、28年度実績から、1年あたり6.5件伸びるものとして目標値を設定
		47	障害者相談支援事業における委託相談件数(延べ)	件	31,900	23,799	19,119	23,799	23,799	特定相談制度の移行後、委託相談件数は減少傾向にあるものの、今後も受け皿として確保する姿勢を示す意味で「維持」とした
		48	障害福祉サービス事業における特定相談件数(延べ)	件	－	4,799	7,054	7,655	9,784	障害のある人が適切な障害福祉サービスを受けることができるよう目標値を設定した
2	地域生活支援の充実(障害のある人)	49	地域で生活するようになった障害のある人の数	人	275	394	446	470	500	過去の実績や今後も障害のある人の地域生活への移行を着実に促進することを踏まえ、年10人程度増とする目標値を設定した
3	就労支援と社会参加の促進	50	新たに就労した障害のある人の数	人	315	439	469	500	585	過去の実績や今後の事業展開を踏まえ、障害のある人の就労件数を着実に増加させることとし、年30人程度増とする目標値を設定
		再掲	パラスポーツ大会観戦者	%	－	－	4.5	7.5	17.0	オリパラに向けた千葉市の行動計画に基づき、32年度までに20%を目指す。

方向性３　豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ
施策の柱３－１　未来を担う人材を育成する

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	学校教育の振興	51	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率の比較	%	－	小1.8 中1.9	小0.3 中0.9	小1.8 中1.8	小2.3 中2.3	第2次千葉市学校教育推進計画における目標値(H33末 小2.5、中2.5)と同じ目標値を設定
		52	千葉県運動能力証の合格率	%	小25.4 中23.6	小26.9 中26.3	小29.2 中25.7	小25.8 中24.2	小25.9 中24.3	今後も児童/生徒の体力・運動能力の向上に係る取組みを推進することとし、年0.1%程度増とする目標値を設定
		53	読書の習慣のある児童の割合	%	45.6	45.2	46.0	50.0	51.3	今後も児童への読書指導を一層充実させることとし、年1%程度の増とする目標値を設定
		54	不登校児童生徒の割合	%	小0.32 中2.49	小0.46 中2.38	小0.53 中2.64	小0.55 中2.66	小0.61 中2.72	不登校児童生徒の増加率を、これまでの半分に抑制することとして目標値を設定
		55	スクールカウンセラー相談件数	件	19,915	20,283	23,251	24,000	28,000	過去実績及び今後の配置拡充に伴う相談数の増加を加味して目標値を設定
		56	スクールソーシャルワーカー対応事案数	件	－	29	89	120	200	過去実績及び今後の配置拡充に伴う相談数の増加を加味して目標値を設定
2	地域の教育力の向上	57	学校セーフティウォッチャーの登録者数	人	23,151	26,855	25,772	24,200	24,500	今後も着実に登録者数を増加させていくこととして、3年で400人程度増とする目標値を設定
		58	放課後子ども教室参加率	%	13.0	12.8	13.7	14.0	14.4	今後も着実に参加児童数を増加させていくこととし、年2,000人程度増とする目標値を設定
		59	学校支援地域本部支援件数	件	－	38	66	225	645	今後毎年10校ずつ新規設置を予定していることから、1校あたり支援数の過去実績を踏まえ、目標値を設定
3	こどもの参画の推進	60	こどもの参画事業参加人数	人	279	331	340	440	520	過去実績を踏まえつつ、ホームページ等による広報・PRを充実させることとして、3年で100人程度増とする目標値を設定

施策の柱３－２　生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	生涯学習の推進	61	公民館稼働率	%	45.0	45.2	46.8	47.3	50.0	第5次千葉市生涯学習推進計画に基づき設定するが、30年度以降の指定管理導入を踏まえ生涯学習推進計画の目標値を1年前倒し
		62	1人あたり貸出図書冊数	冊	5.4	5.0	4.7	5.4	5.4	貸出図書冊数が減少傾向であることを考慮して、新基本計画策定時の値を維持することとし、目標値を設定
		63	千葉市科学館入場者数	人	384,001	352,373	417,499	425,500	493,300	昨期に比べ入場者数が約1割増加していることを勘案し、32末は入館者数増に向けた事業に取り組むことにより、15%以上増を目標とする
		64	生涯学習センター稼働率	%	39.3	51.5	58.2	53.4	54.7	第5次千葉市生涯学習推進計画に基づき設定するが、30年度以降は伸び率が鈍化することを想定し、年0.3ポイント増加を目指す
2	スポーツ・レクリエーション活動の推進	65	スポーツ・レクリエーション活動の参加者数	人	4,447,491	4,449,333	4,443,254	4,478,000	4,488,000	活動の場の提供や、老朽化した施設の改修などを推進することにより、参加者の増を図ることとして年5千人増の目標値を設定
		66	ホームタウンチームとの連携事業応募者数	人	8,716	9,037	9,306	10,000	10,000	有料イベントの増加傾向を踏まえ、28年度実績の約1.1倍を目指す
		67	パラスポーツ大会観戦者	%	－	－	4.5	7.5	17	オリパラに向けた千葉市の行動計画に基づき、32年度までに20%を目指す。

施策の柱３－３　文化を守り、はぐくむ

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	文化・芸術の振興	68	文化施設（市民会館・文化センター・文化ホール）利用者数	人	744,325	695,100	691,973	758,200	761,100	現指定管理期間中（H28-H32）における施設利用者数の数値目標を踏まえ設定
		69	千葉市美術館利用者数	人	169,714	217,452	178,183	202,400	211,100	現指定管理期間中（H28-H32）における展覧会入場者の数値目標、今後の美術館拡張に伴う利用者数の増加を見込み設定
2	文化的財産の保全と活用	70	文化財施設入館者数	人	22,614	23,199	24,747	24,400	25,400	過年度実績及び指定管理機関の展覧会入館者数の数値目標を基に設定
		71	博物館の入館者数	人	49,971	55,518	99,800	58,000	170,000	展示の充実や他施設との連携、加曽利貝塚の特別史跡指定などにより、市民だけでなく広く市外からの入館者も見込むこととした

施策の柱３－４　多彩な交流・連携により新たな価値を創る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	国際化の推進	72	国際交流ボランティア斡旋件数	件	541	573	696	720	780	過去実績の推移を踏まえ、実績と乖離が大きかった目標値を設定
		73	千葉市国際交流プラザの利用者数	人	19,850	23,034	25,871	26,194	27,165	市国際交流協会の経営改善計画に基づき、28年度実績から32年度までに5%の増加を見込んでいる
2	大学・企業等との連携の推進	74	市と大学が連携して実施した取組数	件	51	162	187	200	230	近年の連携事業の状況を踏まえ、目標値を設定
		75	連携協定締結企業との連携事業数	件	－	－	－	－	30	年10件程度の増加を見込み、32末目標値を30件と設定

施策の柱３－５　市民の力をまちづくりの力へ

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	市民参加・協働の推進	76	千葉市民活動支援センター登録団体数	団体	543	683	724	720	735	H29末及びH32末目標値は、指定管理者募集時の数値目標との整合性を図り設定
		77	地域運営委員会設置地区数	地区	－	2	12	14	26	4地区増／年を継続するものとして設定
		78	ちばレポのレポート数	件	0	1,016	1,880	1,990	2,280	過去実績から引き続き同程度に増加させていくことを目指し、目標値を設定
2	男女共同参画の推進	79	附属機関の女性委員の割合	%	27.8	27.3	27.1	34.0	37.0	女性委員の割合向上を目指し、過去の推移を踏まえ、年1%程度増加させる目標値を設定
		80	男女共同事業者登録制度登録件数	件	41	75	79	96	144	「第4次ハーモニープラン」における指標の最終目標値（160件）を達成するため、1年あたり16～17件の増加を目指し、目標値を設定
		再掲	男性が1週間で育児にかかわる時間	時間/週	21	18	18	21.5	24.5	近年は伸び悩んでいるため、H23末と同程度まで戻すことを見込み、H29値を設定翌年度以降は毎年1時間増を目指す

方向性４　ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ

施策の柱４－１　市民の安全・安心を守る

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	防災対策の推進	81	耐震補強が必要な橋梁の改善率	%	60.4	79.1	89.9	87.8	100.0	地震などの災害時に、避難や復旧活動などに支障を来さないよう交通の寸断を防止するため、32年までに100%とする目標値を設定
		82	下水道管の耐震化率	%	32.0	43.1	48.6	49.6	62.1	H28に新たな地震対策計画を作成したことに伴い、目標値を設定
		83	駅や公共施設等を結ぶ道路等の無電柱化率	%	51.6	54.2	54.2	56.0	57.1	電線共同溝の整備を推進することにより、年2%程度増加させる目標値を設定
		84	千葉市雨水対策重点地区整備基本方針に基づく整備着手地区数	地区	－	－	－	－	5	49年度までに重点地区13地区の整備を完了する事業計画に基づき、計画目標値を設定
2	防災体制の充実	85	避難行動要支援者名簿の提供率	%	0.0	17.0	28.3	33.0	48.0	H26～H28の各年度末の提供率の増加状況に鑑み、前年度の提供率に＋5%で目標値を設定
		86	自主防災組織結成率	%	66.8	65.0	64.5	65.9	69.7	毎年20組織を計画的に結成するベースで、目標値を設定
		87	避難所運営委員会設置率	%	－	68.6	81.6	100.0	100.0	目標値を設定した現時点で当初の目標値を大きく上回っていることから、100%達成を前倒しする
3	消防・救急体制の充実	88	建物の延焼率	%	10.2	9.5	7.1	9.5	9.3	消防活動体制の強化、火災予防対策の推進などにより、年1%程度の低減を図ることとして目標値を設定
		89	心肺機能停止傷病者の救命率	%	12.9	11.6	15.7	15.1	16.3	救急業務の効果的運用や応急手当普及啓発により値の向上を測ることとしたが、近年の全国平均値や実現性を考慮し目標値を設定
4	交通安全の推進	90	交通事故死傷者数	人	4,990	3,863	3,619	3,569	3,176	交通事故死傷者数の削減を図ることとし、過去の推移を踏まえ、3年で15%程度の減とする目標値を設定
		91	放置自転車台数	台	4,200	1,400	1,330	1,300	800	自転車駐車場の整備により、台数減少を図ることとして、過去の状況を踏まえ、目標値を設定
		92	自転車による交通事故死傷者数	人	1,113	774	710	705	688	交通事故死傷者数に占める割合が今後も同程度になると想定し、当該目標値をもとに設定
5	防犯対策の推進	93	刑法犯認知件数	件	15,542	12,321	10,254	10,900	8,500	刑法犯認知件数の削減を図ることとし、過去の減少率を踏まえ、目標値を設定
6	消費生活の安定・向上	94	ちばし消費者応援団会員数	団体 個人	団体- 個人-	団体17 個人-	団体82 個人70	団体113 個人129	団体170 個人200	32年度目標値は、29年度登録数の1.5倍となる170団体（200会員）を目標とし、平均的に増加するものとした

施策の柱４－２　快適な暮らしの基盤をつくる

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	市街地の整備	95	都心部（千葉駅周辺）の歩行者数	千人	－	－	163	170	175	西口地区はB工区竣工によりH29比20%増と見込み、駅周辺は千葉駅のH29からH32の乗車数増加率（1.86%増）同等として設定
2	計画的な土地利用の推進	96	市街化区域のうち公共交通の利便性が高い区域に居住する人口の割合	%	－	75.0	77.6	78.0	81.0	これまでの実績を勘案し、年1％増加するとして目標を設定
		97	地区計画の策定数	地区	43	49	53	57	63	現在の協議状況をもとに目標値を設定
3	良好な都市景観の形成	98	良好な景観形成の推進を図る地区数	地区	0	1	1	3	3	良好な景観形成に関心の高い事業者、住民等との調整を図っていくこととし、協議状況を踏まえ目標値を設定
		99	屋外広告物適正化推進員数	人	138	119	78	75	75	過去6年度は年12人減少しているため、減少数に見合う新規登録者数を増やすことでH32末まで現状維持の75（H29末現状値）とする
4	住宅・住環境の充実	100	高齢者の暮らしている住宅のバリアフリー化率	%	38.9	38.8	－	57.0	70.5	リフォームに関する情報提供・相談体制を充実させることとし、国の住生活基本計画に基づき目標値を設定
		101	耐震性のある住宅の割合	%	84.4	85.9	86.5	90.0	95.0	耐震診断や耐震改修の助成制度等により、建築物の所有者等の取組み支援し、耐震性を高める目標値を設定
5	生活基盤の充実	102	下水道汚水処理普及率	%	97.2	97.2	97.3	97.3	97.4	下水道の汚水管渠の整備を推進することとして目標値を設定したが、整備区域内の人口が想定以上に増加しているため目標値を設定
		103	長寿命化修繕計画に位置付けられる橋梁補修の実施の割合	%	4.0	37.0	47.7	56.0	65.0	長寿命化修繕計画に基づき設定（29末以降は第2期計画を母数とする）

施策の柱４－３　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	公共交通ネットワークの形成	104	公共交通機関の乗車数	千人	704	743	769	777	813	近年のバス乗客数はおおむね緩やかに増加しており、今後もこの推移が継続すると考え、目標値を設定
2	道路ネットワークの形成	105	都市計画道路の整備率	%	71.0	71.8	74.9	75.1	75.4	整備済延長に32末の整備完了見込み路線延長を加え、目標値を設定
3	人にやさしい移動環境の創出	106	鉄道駅のバリアフリー化率	%	55.3	68.4	73.7	86.8	100.0	鉄道事業者へのバリアフリー化支援施策により、国のバリアフリー法に基づく基本方針を達成できるよう目標値を設定
		107	駅や公共施設等を結ぶ道路等のバリアフリー化率	%	65.0	79.0	84.8	84.8	100.0	道路特定事業計画で定めた32末までに目標値100%を目指し、必要な整備量を設定
4	ICTを活かした利便性の向上	108	庁内情報システム最適化によるコスト削減	百万円	ー	138	151	185	428	当初予定のシステム移行が見送られたこと、計画外のシステムのサーバ集約により最適化の効果が出ていることを踏まえ、目標値を設定
		109	電子申請サービスの手続数	手続	64	296	489	550	730	サービス開始以降の平均増加数は約60手続であることから、平成29年度以降も、毎年度60手続程度増加する想定として設定
		110	オープンデータ活用事例数	件	－	8	14	16	19	今後、民間事業者・団体にデータ活用の働きかけ等を行うことで年1件程度の増を図ることとして設定

方向性５　ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ

施策の柱５－１　都市の魅力を高める

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	3都心などの魅力向上	111	千葉駅、海浜幕張駅、蘇我駅の乗車数	千人	211	220	230	233	244	過去実績の推移を基に推計し、目標値を設定
		112	都心部（幕張新都心）の日々活動人口	千人	158	225	226	226	229	直近の傾向から算出するとともに、32年度末はオリパラによる来場者等の増を見込んで設定
		再掲	都心部（千葉駅周辺）の歩行者数	千人	－	－	163	170	175	西口地区はB工区竣工によりH29比20%増と見込み、駅周辺は千葉駅のH29からH32の乗車数増加率（1.86%増）同等として設定
2	都市の国際性の向上	113	国際会議開催件数	件/年	22	30	43	60	65	会議主催者への財政的支援や本市PR等を通じ、早期に東日本大震災前の水準を回復し、平成33年度末には過去最高の実績を目指す
		再掲	外国人延べ宿泊客数	千人泊	65	210	582	600	1,000	東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される32年度までに100万人泊を目指す
3	観光の振興と魅力の創出・発信	114	観光入込客数	千人	19,754	22,537	25,371	26,000	26,500	本市の魅力の発信や観光施策の取組みを推進することとし、年1万人増の27,000千人程度を目標値を設定
		115	外国人延べ宿泊客数	千人泊	65	210	582	600	1,000	東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される32年度までに100万人泊を目指す

施策の柱５－２　地域経済を活性化する

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	産業の振興	116	市内総生産額	億円	28,883	31,510	H31春公表予定	33,800	33,960	国の名目GDPの増加率及びH26からの本市人口推計の伸び率を踏まえ設定（国のGDP基準改定を考慮している）
		117	事業所数	事業所	30,806	32,575	31,220	31,220	31,220	全国で企業数は減少傾向にあり、目標値については、現状維持とする。
		118	新規企業立地件数	件	－	81	144	163	220	補助制度を活用した企業誘致・立地促進活動を積極的に行うこととし、目標値を設定
		119	新規立地企業の納税額	百万円	－	173	14,300	14,755	17,488	補助制度を活用した企業誘致・立地促進活動を積極的に行うこととし、目標値を設定
		120	市の施策が業績向上や経営の安定等に効果的だと感じている事業者等の割合	%	－	－	－	－	60	市内事業者の半数以上が効果的であると感じる施策の立案遂行を目標とした
2	新事業の創出	121	スタートアップ支援受給後の創業者数	人	－	36	49	50	65	第3次実施計画の事業量に合せて、目標値を設定
		122	市の新事業創出関連施策の支援を受けている企業の内、市の施策が効果的だと感じている企業の割合	%	－	－	－	－	80	産業振興財団が、その利用企業を対象に行った事業の効果検証アンケート結果値を参考として目標値を設定
3	商業・サービス産業の振興	123	小売業の年間商品販売額	百万円	－	937,812	－	946,000	951,000	人口推計におけるH26からの伸び率を踏まえ設定
		124	市の施策により売上が向上したと感じている小売・サービス事業者の割合	%	－	－	－	－	60	市内事業者の半数以上が効果的であると感じる施策の立案遂行を目標とした
4	物流・港湾機能の強化	125	市場年間取扱金額及び数量	百万円 トン	38,506 146,229	37,132 137,684	38,303 129,666	38,000 130,000	39,500 139,500	市場における取扱金額の減少が続いていることから、目標値を平成23年度取扱金額を基準として維持する
5	勤労者の支援と雇用の創出	126	新規立地企業の市民雇用人数	人	－	1,087	4,616	4,770	5,439	過去の立地企業における市民雇用者実績をもとに新規企業立地件数（計画）に基づいて目標値を設定
		127	ふるさとハローワーク利用者の就職が決定した割合	%	11.7	13.8	19.4	19.4	20.0	28年度は過去の統計と比べ、ふるさとハローワークでの就職率が高い状況にあると言えるため、28年度実績値の維持を目指すこととした
		128	市の施策により採用力が向上したと感じている市内企業の割合	%	－	－	－	－	60	市内事業者の半分以上が市の施策に満足することを目標と設定

施策の柱５－３　都市農林業を振興する

施策	施策名	NO	指標名	単位	指標の値					目標設定の考え方
					H23末現状値	H26末現状値	H28末現状値	H29末目標値	H32末目標値	
1	新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給	129	認定農業者の農産物生産量	kg	－	56,049	57,918	63,755	70,130	国の産地パワーアップ事業の目標のひとつである、販売額の増加率10％に準じて設定
		130	地産地消推進店登録数	店	－	－	－	21	60	H27，28年で16店をマッチングしてきたことから、今後は飲食店を中心に10店以上の登録を目指す
2	安定した農業経営体の育成	131	担い手の借入農地面積	ha	－	－	161	171	201	4つの貸し借り方法による担い手（認定農業者・認定新規就農者）の借入農地面積を目標値として設定
		132	新規就農者数	人	4	1	4	4	5	新規就農希望者研修の募集定員を満たすことを目標値として設定
		133	認定農業者の平均所得	千円	－	3,431	3,030	3,100	3,300	28年度末における認定農業者の平均所得をベースに、32年度末までの 所得向上率を10％として設定
3	農村と森林の持つ多面的機能の活用	134	市民農園利用率	%	83.0	78.0	79.8	80.0	84.0	実績値より、農園の不足する区を対象に新たに計200区画増やすことで、中央区、稲毛区、花見川区での利用率の向上を図るとし設定
		135	森林ボランティア団体の会員数	人	111	136	122	122	122	新規入会者が減少し高齢化と退会者が見られ、会員数が減少傾向にあることから、現状維持を目標として設定
		136	いずみグリーンビレッジ3拠点来場者数	万人	12	19	19	19	20	農とふれあう機会の拡大を目指し、拠点来場者数を28年度末現状値から32年度末までに1万人増やすことを目標値として設定

別記

行政活動実績評価シート

施策						
	指標名				単位	
区　分	H23末	H26末	H29末	進捗状況 （29末-26末）	H32末	
目標値						
実績値						
達成状況 （実績値-目標値）						
【分析・考察結果】						
（分析・考察上必要となるデータ等）						
担当部署						

政策評価シート

施策の柱						
区分	No	指標名	単位	26末値	29目標値	29末値
生活実感指標						
行動指標						
主な関連客観指標						
評価						
課題						